

ギークス株式会社

決算説明資料（スマホ向けサマリ版）

2026年3月期第2四半期

2Q業績ハイライト

営業利益以下 YoY +**100%超**

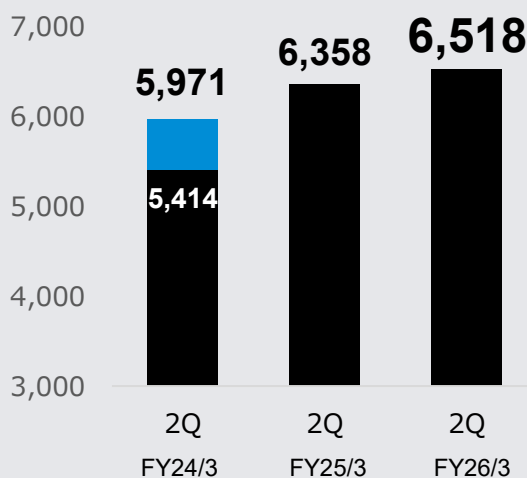
累計
売上高 **128.9**億円 (YoY **+5.8%**)

累計
営業利益 **4.3**億円 (YoY **+126.2%**)

累計
純利益 **3.4**億円 (YoY **+109.2%**)

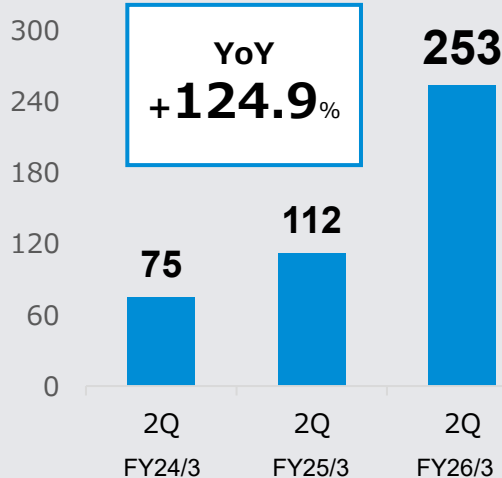
(百万円)

売上高推移



※ グラフ青色は譲渡済みのゲーム事業の売上高

営業利益推移



2026年3月期2Q：業績および通期計画進捗状況

| (百万円) | 25年3月期 2Q累計 | 26年3月期 2Q累計 | 通期計画 | |
|--------|----------------|----------------|--------|--------|
| | | | 計画 | 進捗率 |
| 売上高 | 12,183 | 12,891 | 26,600 | 48.5 % |
| EBITDA | 256 | 476 | 880 | 54.1 % |
| 営業利益 | 193 | 437 | 800 | 54.7 % |
| 経常利益 | 199 | 427 | 770 | 55.5 % |
| 当期純利益 | 164 | 343 | 550 | 62.5 % |

2026年3月期 2Q 業績

- 第2四半期の業績は好調に推移。
- 累計売上高はYoY5.8%増、営業利益は生産性の向上や費用コントロールにより、YoY126.2%増と大幅に伸長。

戦略的AI活用の取り組み

- AIを事業戦略上の重要テーマと位置づけ、今後は「知識集約型」要素を高めるビジネスモデルへの転換を推進。
- 統合型AIエージェント「GEECHS AI」の開発とAI共創文化の確立によって、更なる生産性の向上を目指す。

2026年3月期 業績予想の修正

- 全てのセグメントの業績が好調に推移したため、10月27日に連結業績予想の上方修正を開示。
- 通期売上高は266億円（据え置き）、営業利益は8億円（プラス1億円）を計画。

GEECHS AIの開発と「知識集約型」要素を高めたビジネスモデルへの変革

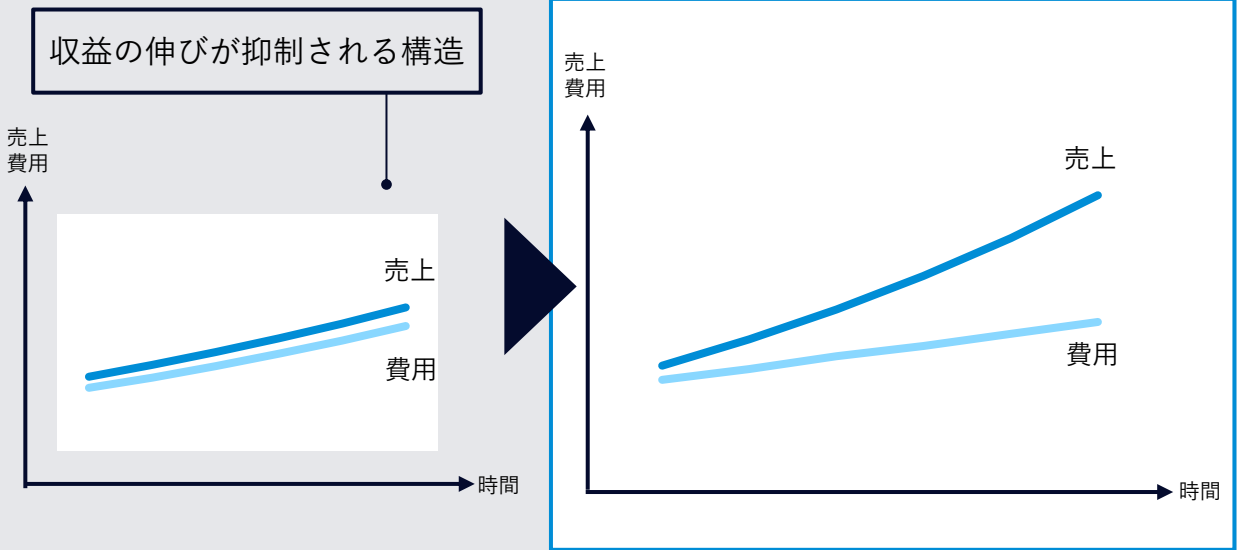


課題

- 営業スキルの属人性
- 労働集約型ビジネス

課題に対する取り組み

- 「AIとの共創」を実現する働き方への意識改革
- 課題解決を改善する中核ツールとして、統合型AIエージェント「GEECHS AI」を開発



「知識集約型」要素を高め、売上成長率アップと売上成長に対するコスト増の抑制を狙う